

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年1月15日

1. 職名・氏名 教授 笠井 恭子

2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、授与機関 石川県立看護大学、
授与年 2017年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅰ （2単位）1年生
②内容・ねらい	看護技術の意義および原理を学び、対象の生活過程を健康的に整えるための基本的な表現技術・観察の技術、および対象を安楽に整える技術を修得する。看護の理論に裏付けられた基本的な看護実践能力を修得するとともに、対象の立場を感じ取れる感性を磨く。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	学生の能動的な学習を促すため以下の工夫をしている。 ・教員が作成した資料や動画配信サービス等を使用して予習をし、疑問をもって授業に臨ませる。 ・学生によるプレゼンテーション・デモンストレーションやグループ討議を取り入れる。 ・演習では他学生によるチェックとフィードバックを受け、自己の改善点を見出す。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅱ （2単位）1年生
②内容・ねらい	看護技術の意義および原理を学び、対象の生活過程を健康的に整えるための基本的な表現技術、対象の理解を深めるためのコミュニケーション技術および対象の安全を守る技術を修得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	学生の能動的な学習を促すため以下の工夫をしている。 ・教員が作成した資料や動画配信サービス等を使用して予習をし、疑問をもって授業に臨ませる。 ・学生によるプレゼンテーション・デモンストレーションやグループ討議を取り入れる。 ・演習では他学生によるチェックとフィードバックを受け、自己の改善点を見出す。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅲ （1単位）2年生
②内容・ねらい	目的意識的な看護実践能力の修得を目指し、診療に伴う技術を学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	学生の能動的な学習を促すため以下の工夫をしている。 ・教員が作成した資料や動画配信サービス等を使用して予習をし、疑問をもって授業に臨ませる。 ・学生によるプレゼンテーション・デモンストレーションやグループ討議を取り入れる。 ・演習では他学生によるチェックとフィードバックを受け、自己の改善点を見出す。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 フィジカルアセスメント （1単位）2年生

<p>②内容・ねらい</p> <p>人間の全身の状態を的確に把握するために、系統的に行う身体診査であるフィジカルアセスメントの意義や具体的方法(フィジカルイグザミネーション)を学習する。さらに、看護過程を展開する技術を学習する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>学生の能動的な学習を促すため以下の工夫をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が作成した資料や動画配信サービス等を使用して予習をし、疑問をもって授業に臨ませる。 ・学生によるプレゼンテーション・デモンストレーションやグループ討議を取り入れる。 ・演習では他学生によるチェックとフィードバックを受け、自己の改善点を見出す。
<p>①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等</p> <p>看護学原論Ⅰ (1単位) 1年生</p>
<p>②内容・ねらい</p> <p>看護のメタパラダイム(中心的概念)である人間・環境・健康・看護について理解する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>看護の定義、看護の役割、メタパラダイムの概説のあと、個別課題として人間・環境・健康の関連について具体例をあげさせそこに看護がどのように関わられるのかを考えることで、人間と環境との相互浸透、看護の役割を理解する。</p>
<p>①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等</p> <p>看護学原論Ⅱ (2単位) 1年生</p>
<p>②内容・ねらい</p> <p>近代看護の創始者であるナイチンゲールの看護論と主要な看護理論について学び、看護とは何かを考究し看護観、健康観を確立する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>能動的な学習を促すため、グループで看護覚え書(ナイチンゲール著)と看護理論に関する文献を読み解き、理解したことをまとめて発表する。教員は発表内容の講評・補足を行う。</p>
<p>①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等</p> <p>看護倫理学 (1単位) 4年生</p>
<p>②内容・ねらい</p> <p>医療倫理の変遷、医療倫理に関わる理論・原則・概念、ケアの倫理、看護倫理の概念について学ぶ。さらに、看護実践上の倫理的問題を取り上げ、医療倫理の4原則を用いたアプローチの方法を学習する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護実践上の倫理問題について具体的な事例を取り上げて解説する。 ・臨床によくある事例について、医療倫理の4原則を用いて検討させ理解を深める。
<p>①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等</p> <p>基礎看護学実習Ⅰ (1単位) 1年生</p>
<p>②内容・ねらい</p> <p>病院の概要を知るとともに療養生活の場としての入院環境に対する理解を深める。看護の対象・看護の実際を理解し、看護学生として必要な態度を身につける。生活過程の援助を中心とした対象とのかかわりを通して対象への感性および表現技術を高める。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調管理、身だしなみ、態度などの基本事項を指導し、実習環境(医療スタッフとの連絡調整、必要物品の整備等)を整える。 ・学生個々の進捗状況に合わせた個別指導を行う。 ・グループカンファレンスをとおして学生個々の学びをグループメンバーで共有し、学びを深める。
<p>①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等</p> <p>基礎看護学実習Ⅱ (2単位) 2年生</p>
<p>②内容・ねらい</p>

<p>対象の個別に即した看護を認識し計画的に看護を実践・評価するという看護過程を展開するための基本的能力を修得する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調管理、身だしなみ、態度などの基本事項を指導し、実習環境（医療スタッフとの連絡調整、必要物品の整備等）を整える。 ・学生が患者の個性をふまえた看護実践ができるよう学生個々の進捗状況に合わせた個別指導を行う。 ・グループカンファレンスをとおして学生個々の学びをグループメンバーで共有し学びを深める。
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント実習（2単位）4年生</p>
<p>②内容・ねらい 療養生活を送る人々の多様なニーズに対し、安全で効率的な看護を提供するために必要な看護サービスマネジメントの実際を学ぶ。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の病棟配置は、1名ないし2名とする。 ・実習病棟の看護組織の目標を理解した上で、学生自身がスタッフメンバーとしての目標を設定し実施・評価する。 ・学生が各々の実習施設で体験したことをもとに報告会を行い、体験の共有化をはかり学習効果を高める。
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護発展セミナー（1単位）4年生</p>
<p>②内容・ねらい 看護実践と理論のつながりについて文献検討を行った上で、専門領域看護学実習で受け持った事例について看護理論を活用してまとめる。これらの内容をプレゼンテーションし、グループメンバーとディスカッションを行う。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 すべての実習終了後、自己の看護実践の振り返りをとおして看護実践と看護理論のつながりを理解できるよう少人数のゼミ形式ですすめる。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（3単位）4年生</p>
<p>②内容・ねらい 自己の研究課題に対して研究計画書を作成する。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する。</p>

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0本】
② 学術論文（査読あり）	【0本】
③ その他論文（査読なし）	【0本】
④学会発表等	
1. 「PNS において新人看護師に関わる看護師の教育的役割遂行とバーンアウトとの関連」、第 24 回日本看護管理学会学術集会、2020 年 8 月、坂口大介、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
2. 「臨床における看護職のパワーハラスメントの経験と職務満足との関連」、第 24 回日本看護管理学会学術集会、2020 年 8 月、福田裕子、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
3. 「臨床看護師における配置転換と自己効力感との関連」、第 24 回日本看護管理学会学術集会、2020 年 8 月、伊藤由美子、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
4. 「病棟看護師がとらえた師長の支援と組織風土との関連」、第 24 回日本看護管理学会学術集会、2020 年 8 月、西島信子、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
5. 「中小規模病院における医師・看護師間の連携と退院支援実践との関連」、第 24 回日本看護管理学会学術集会、2020 年 8 月、木村理香、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
6. 「中小規模病院の看護部長が看護師への支援を通して自己成長を実感した対応の内容」、第 24 回日本看護管理学会学術集会、2020 年 8 月、山下順子、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
7. 「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師におけるワーク・ライフ・バランスと職業性ストレスとの関連」、第 45 回日本脳卒中学会学術集会、2020 年 8 月、髭美希、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
8. 「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師における活動と職業ストレスとの関連」、第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会、2020 年 10 月、髭美希、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
9. 「臨床における看護職のパワーハラスメントの実態」、第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会、2020 年 10 月、福田裕子、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
10. 「中小規模病院の看護部長が自己成長を実感した内容」、第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会、2020 年 10 月、山下順子、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
11. 「PNS における新人教育と教育的役割遂行との関連」、第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会、2020 年 10 月、坂口大介、 <u>笠井恭子</u> 、大久保清子	
	【11 件】
⑤その他の公表実績	
1. 「特集 3 高齢者の睡眠障害とケア 要介護高齢者の夜間睡眠の実態と睡眠改善に向けたケア～長期追跡調査の結果から～」 <u>笠井恭子</u> 、隔月刊誌 臨床老年看護 2020 年 9・10 月号、p.52-58、2020 年 9 月	
	【1本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】	
1. 科学研究費基盤研究（C）（一般） 長期寝たきり高齢者の自律神経活動を整えるケアの開発－爪もみに焦点をあてて－（研究代表者、2019～2021 年度）	
【学内】	
1. 戦略的課題研究推進支援 健康長寿戦略 DM チーム 地域における健康長寿戦略のための血糖値を指標とした心身の健康度の総合的調査（研究分担者、2018～2020 年度）	
2. 戦略的課題研究推進支援 福井モデルの生き方チーム 福井発の自分らしい生き方・療養生活のイノベーション（研究代表者、2019～2020 年度）	

(3)特許等取得
(4)学会活動等

5. 地域・社会貢献活動

<ul style="list-style-type: none"> ・疫学倫理審査委員会委員（2014年～現在に至る） ・福井赤十字病院看護研究指導 ・福井県保健師助産師看護師実習指導者講習会講師（2008年～現在に至る） ・高大連携事業（大野高校探究活動アドバイザー、2020年10月21日（文書で回答）、2020年12月21日（高校にてアドバイス）） ・公開講座「リラクゼーション講座～自律神経を整えるレッスン～」(Zoomによるオンライン講義、2020年11月7日) ・開放講義「根拠に基づく看護実践～対象のより良い睡眠を目指して～」(鯖江高校、2020年11月6日)

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究委員会 ・科内委員 1年生担任 カリキュラム検討委員会 研究科教務係
(3)学内行事への参加
<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパス担当（2020年7月19日）
(4)その他、自発的活動など